

小さな一歩から、大きな成果へ。 かながわの子どもたちの未来を拓く！ ～学びの充実・改善のためのRPDCAサイクル～

いくつ Check がつきますか？

子どもたちの学びの充実・改善のためには、下の RPDCA サイクルを回していくことが大切です。自分自身を見つめ直し、当てはまるものには✓をつけましょう。次のページからは、全県の傾向を踏まえて設定した重点事項ごとにポイントをまとめています。



※次ページから示されている表やグラフの数値は、神奈川県内の公立小・中学校の数値です。

Check !

- すべての学年で、全国学力・学習状況調査と同じ質問項目の調査を年間複数回行うなど、変容を比較・分析している
- 自身の授業改善のために、他の先生の授業を見たり、自分の授業を公開して、見てもらったりしている
- 改善が必要だった指導事項を再度取り上げて指導している
- 児童・生徒のよい点や、課題解決に向けた手立てなどを、家庭と共有したり、地域に発信したりしている



Research 状況把握

- 全国学力・学習状況調査の結果分析
- 自校の児童・生徒の課題、資源の把握

Check !

- 全国学力・学習状況調査の問題を解いた
- 自校の児童・生徒の学習面における「強み」と「課題」を端的に説明（言語化）できる
- 自校の児童・生徒の誤答を分析している
- 国が出した「報告書」を読んだ
- 地域の人的・物的資源を把握している

Plan 計画

- 具体的で検証可能な目標の設定
- 目標と計画の作成・共有

Check !

- 指導事項に即した学習内容となるよう、単元や題材ごとの指導計画・評価計画を立てている
- 学習を通して実現を目指す児童・生徒の姿や育成を目指す資質・能力が明確になっている
- 児童・生徒のつまずきを予測し、手立てを複数考えている
- 学習内容に関する系統性や既習事項を理解している

Check !

- 児童・生徒が見通しをもって学習できるよう工夫している
- 児童・生徒が興味・関心をもって学習を進められるよう工夫している
- 意図的・計画的に他者と交流し、自分の考えを検討する場面を設けている
- 児童・生徒一人ひとりをよく観察し、適切なタイミングで支援や評価を行っている

Action 改善

- 目標の達成状況に基づく新たな目標の設定
- 評価結果に基づく改善策の検討

Check !

- 児童・生徒一人ひとりが、授業の中で、自分の考えを表出できる（異なる考えを認め合える）雰囲気がある
- 児童・生徒が振り返りなどを行うことで、自身にあった学び方を見つける機会を設定している
- 日頃の授業などで、児童・生徒の「分かった点」や「よく分からなかった点」を把握している
- 児童・生徒が学びを深められるような問いかけや、認め励ます声かけ、評価を行っている



重点1



子どもたちの
学びに対する
意欲の向上

重点3



授業改善の推進

重点2



自分の考えを
文章等で表現する
力の向上

重点4



地域・家庭と学校が
連携・協働した
教育活動の推進

Check 振り返り・評価

- 目標の達成に向けた実践効果の客観的な把握
- 目標の達成状況に対する自己評価の実施

Do 実践

- 計画に沿った学習活動の展開
- 研究授業の実施